

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 黒崎作成日: 令和元年9月17日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	町内会に加入し、利用者と職員は市民センターの行事や活動に交代で参加しているが、地域密着型事業所として、介護相談や独居の高齢者の見守り支援等、地域と協働して取り組んでいく。	小・中学校の体験学習の受け入れや、地域の方が参加できるイベントの開催等、外部から人が出入りしやすい環境と体制を整え、認知症やグループホームの啓発と地域貢献に繋げ、地域に開かれた事業所を目指していく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出の支援	季節毎の花見等、外出レクリエーションを計画し、利用者の気分転換を図っているが、日常的に外出できる体制作りに取り組んでいく。	家族や元家族、ボランティア等の協力を得て、職員の勤務体制を検討し、日常的な散歩や買い物ができる支援を行い、利用者の生き生きとした暮らしに繋げていく。	12ヶ月
3					ヶ月
					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。